



Woven city への考察

令和7年1月10日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

デジタル化と次世代の新しい社会モデルとしてのウーブンシティは、世界がその新しい未来の創造を模索する中、未来という現実の創造を企業が提案するものであり、その考察は世界が新しい時代と現実へ移行することへの模索と考察としてその理解を有することができる。

これらは技術の進歩が可能とする新しい未来は、その新たな可能性を現実化するものである。

これらは新しい未来の探究そのものなのである。一企業がそれを行うことは、企業という独立隊が、その自由において未来の創造を有することなのである。

これらは企業の高い意欲が未来を創造することへ正しい考察を要求するのである。行政の非効率性は経済の効率性に対してその判断を得ることは可能なのである。

これらは企業の有する高い意欲は、規制と制限において行政に対して、その新しい未来という現実の創出を可能とできることを証明するものである。

これら新たな社会の効率性は既存社会が未来においてそのコストの削減し、高い生産性とともにその新たな豊かさの創造を実現できることを意味するものである。

これらは新たな経済の転換とともに小塚の刷新を実現できることを意味するものである。

またこれらが国内経済の再生を可能とできることも真実なのである。

これらは国内経済と社会の再生を、内需と国内産業の育成とともに実現できるのである。

これらは明確に政治の決定とコンセンサスにおいて未来という現実を実現できることを意味するものである。

これら新しい可能性は真実において未来の約束なのである。